

キャラクター名
千寿ヶ崎 命(センジュガザキ ミコト)

プレイヤー名

シンドローム	バロール ウロボロス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	大学生
オプション		年齢	19	性別	男
覚醒	命令	衝動	妄想	初期侵食率	33 %
出自	名家の生まれ	経験	盟友 (仲間の死)	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	1	0	0			1	行動値	13
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	13
精神	4	1	3	1		9	戦闘移動	18
社会	1	0	0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避			知覚			意志		+1	調達	2	
運転:			芸術:			知識: RB	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	RC	11r+6				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
要人への貸し	
UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者: 誓約の瞳P		N		
"先代当主"千寿ヶ崎衛P	遺志	N 恐怖		
"灼命の魔女"クローディアP	感服	N 不信心		
テレズブルムP	信頼	N 不安		
		N		
		N		
		N		

最大財産P: 6 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コメントレイト:バロール	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: c値-Lv								
常玻璃の鏡	★	1	リアク			対決		
効果: 回避RC代用								
混色の氾濫	1	2	Xジャー	至近	範囲選択	自動	-	
効果: 範囲化 シナリオLv回								
黒の鉄槌	2	1	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻+ [Lv*2+2]								
背教者の王	1	4	Xジャー	-	-	-	100	
効果: 攻撃+侵蝕/10 シナリオLv回								
メモリー:バブルガム"張我武蔵"	★	-10%	-	-	-	-	-	
効果: 悔悟.楔.・俺の.・いや私の元相棒の残骸.もう捨てたはずの恋心								
ナーブジャック	★	10	Xジャー	視界	単体	対決	120↑	
効果: 意思対決勝利時、対象にXジャー一回行わせる。回数制限ありE不可								
喰われし贄	2	1	オート					
効果: 攻撃後シーン間攻撃+Lv*3								
赤:雷の剣	2	2+1	Xジャー	至近	単体	対決	-	
効果: 攻撃+5 同エン可 シーンLv回								
イージーフェイク:スゴトライト	★							
効果: 任意の場所に光源を設置/侵蝕+1								
ポケットディメンジョン	★							
効果:								
効果:								
効果:								

「貴方の力を、言葉を、全てを提示しなさい。それを以て私が裁定を下しましょう。」
なんか物理的に眩しいお坊ちゃん。いつも眼を閉じてるのは自分が眩しいからなんじゃないの?とは辟む者たちの弁。数多くの法律家を生む名家"千寿ヶ崎"の現当主&法学部の大学1年生&エリートエージェント。一見穏やかだが眩しきゆえの物理的な距離と俯瞰した物言いで慕うものこそ多いが孤高。本人も気の許せる友は今も昔も一人のみと改善させるつもりはない。上に年の離れた姉と兄がいる。

千寿ヶ崎家はドイツにルーツを持つ名家であり表向きは法律家・特に裁判官を多く輩出する名門として存在し、裏では古のレネゲイドに感染した"遺産"の一つを代々管理する為存在する一族である。UGN創設初期から資金援助をする一方で傘下に加わる意思はなく、一族による遺産『星乙女の鍾子』の所持管理を認める事。万が一、継承者が外部で死亡した場合直ちにこれを回収し一族へ返還する事を支援条件としていた。現代において『誓約の瞳』と称されるこの遺産を継承した者が千寿ヶ崎の当主となり遺産継承者には左目に秤のような紋様が浮かぶという。

4年前、遺産を狙ったFHが屋敷に侵入し起こしたとされる事件で父であった先代当主が死亡。(実際はある事件の容疑者による逆恨みに協力した青いRBによる犯行) その際救済として送られたUGNチルドレン【バブルガム】によって救われた命がオーヴァードに覚醒。遺産とそれに纏わる知識を継承する。"歴代当主は裁定を下したものに殺されてきた"という真実と共に。以降イリヤガルとしてバブルガムと組み、彼亡き後は本格的な活動を決めエージェントとして武上支部に在籍している。元々の資金支援のみを行うべきという保守派からの反発を抑えるべく、任務時の個人的な活動に家の力は使いたがらない。

遺産の呪いにより、人を信じる事が出来ない。実兄から刺客を向けられ実姉とは遺産相続後から不仲になった事もその傾向を助長させている。それ以上にとある理由からレネゲイドピーニングに対しあまり良い感情を抱けなかったがコバルトプラン後からどちらにせよ信じられないのならと気にすることをやめている。

戦闘では背後に眩く光るバロールの球から重圧力を加え遺産の力で相手を操り自害を命ずる。共に組む相手に合わせて細かい部分を調節することが多いが最近は一人で成せるよう純粋な攻撃力の底上げを図っている。